積乱雲が近づいたら（雷から身を守る）

気象庁の呼びかけをもとにまとめました。教室や家にはっておきましょう。

積乱雲が近づく3つのサイン

真っ黒い雲が近づいてくる	雷の音が聞こえてくる	急に冷たい風がふいてくる

もうすぐ激しい雨と雷がやってきます。竜巻などの突風が起きるおそれもあります。

雷の音が聞こえたら、すぐに安全な場所へ

○ 比較的安全

- 鉄筋コンクリートの建物の中
- 自動車・バス・電車の中（オープンカーはだめ）
- 木造の建物の中も、基本的に安全

× 危険

- 高い木の下で雨宿りをする（木に落ちた雷が人に飛び移る）
- 広いグラウンドや田んぼ、海や山の上にいる
- かさや釣りざおなどを体より高く上げる

まわりに安全な場所がないとき

- 電柱や木などの高いものから4m以上はなれ、姿勢を低くする。持ち物は体より高く上げない。
- 高い木からは、すべての幹・枝・葉から2m以上はなれる。
- 雷が鳴りやんでも、20分以上たってから安全な場所へ移動する。

出典：気象庁「急な大雨や雷・竜巻から身を守るために」「雷から身を守るには」をもとに作成